

くびき野 NPO サポートセンター 平成 30 年度事業報告

事業実施の方針

(1) 市民参加型社会の創出及び NPO 活動の支援をすすめるにあたり、事業評価及びビジョンの見直しを行う。資金提供（にいがた NPO 基金事業）や情報発信（NPOPRESS 製作）等を重点に、今度を見据えたより力強い支援を展開する。

(2) 事業の合理化や人材のスキル向上等、組織の基盤強化を図る。

重点項目として、

- ①にいがた NPO 基金
- ②NPOPRESS 製作
- ③設立 20 周年に関わる事業及びビジョンの見直し

ビジョン 2008 に基づく事業区分

市民の NPO への関心を高める事業 目標：くびき野地域の NPO 法人数 1 万人 (地域人口の 1%)	①NPO PRESS 制作
	②WEB による情報発信
	③上越市市民活動支援
	④上越市市民活動交流会
	⑤SAVE JAPAN プロジェクト
市民の NPO への支援を高める事業 目標：NPO へのボランティア参加している人の割合 3 割 くびき野地域の NPO 法人への寄付総額 3 億円	①にいがた NPO 基金
	②災害支援
	③市民活動体験ツアー
地域に自主・自立した NPO を増やす事業 目標：NPO 法人数 300 団体	①NPO 法人設立・運営相談
	②講師派遣
	③協働環境整備
	④印刷機設置
	⑤NPO インキュベーション施設提供
センター運営に関する事業	①会員拡大
	②総会
	③理事会
	④設立 20 周年事業
その他	①にいがたワーク & ライフフォーラム in 上越
	②他団体との連携等

市民のNPOへの関心を高める事業

①NPO PRESS 制作（上越タイムス社との協働事業 継続事業 19年目 達成レベル△）

目標

昨年度に引き続き、カラー紙面を有効に活用し、活動する市民の表情を伝えられる紙面を制作する。実際に活動している人自身が執筆するコラムや未だ社会的認知度の低い活動など、地域課題とそれに取り組む活動を発信する紙面を増やしていく。また掲載した内容について、引き続きコミュニティ FM 等での発信を行う。協賛広告については、紙面との連動企画なども増やしていく。

★数値目標 広告訪問件数 500件、年間広告 400万円

報告

新たに糸魚川能生地区で地域づくりに取り組む団体「波と母船」によるコラムの連載を開始。併せて糸魚川復興まちづくり情報センターからも協力を得ながら、糸魚川地域の活動を例年以上に掲載。

12月の設立20周年事業に合わせ上越タイムス社と協働紙面（記念広告）を企画。年間契約企業の減少やスタッフ数の減少等により、目標金額を達成することができなかった。

★数値実績：営業（アプローチ）件数 152件、年間広告料収入 1,067,796円

NPO PRESS 掲載記事一覧

（平成30年4月～平成31年3月）

月	日	TOP	トピックス	コラム連載
4	2	NPO法人情報公開特集	・ソーシャルビジネスに関する無料相談開始 （上越市ソーシャルビジネス支援ネットワーク）	
	16	NPO法人情報公開特集	・空き家に未来を託すリノベーションまちづくり講演会を開催 （上越青年会議所） ・空き家に関する無料相談窓口設置 （中郷区まちづくり振興会）	・ひとサポつうしん ・しっぽのなかま上越
	23	NPO法人情報公開特集	・第6回助成プログラム県内7団体へ助成決定 （いこいがたNPO基金）	
	30	上越市名家一斉公開（庭屋一如研究会）	・下平丸まつりで巨大スゲ牛（平丸スゲ細工保存会） ・子育てを応援（ゆめきやんばす） ・プラニガタ2018in能生小泊開催（まちづくり学校）	・おりづるつうしん
5	14	チェス教室毎月開催（国際フリースクールICAN）	・菜の花まつり開催（妙高市グリーン・ツーリズム協議会）	・頸城野ドキュメントライブラリー ・しっぽのなかま上越
	21	道路沿い花壇に花植え（花いっぱい上越）	・市民活動図鑑「バタバタ茶の会」 ・ギャンプル依存症を学ぶ冊子完成 （ギャモン上越グループ）	・ひとサポつうしん
	28	地域資源をまちづくりに活かす活動巡る体験ツアー 参加者募集（上越市NPO・ボランティアセンター）	・市民活動図鑑「糸魚川絵画クラブ」	・緑とくらしの学校
6	4	通常総会報告（くびき野NPOサポートセンター）	・子ども支援団体らが交流（市民活動交流会）	
	18	環境月間特集「蛍舞う里づくり」		・ひとサポつうしん ・頸城野ドキュメントライブラリー ・しっぽのなかま上越
	25	健康麻雀大好評で2周年（いこいのなかま）	・子ども無料塾に寄付（JP労組高田支部） ・市民活動図鑑「みずいろ実行委員会」	・緑とくらしの学校 ・おりづるつうしん
7	2	NPO等助成事業助成先決定（新潟ろうきん福祉財団）	・町屋を包むマリンパの音色 （糸魚川の町屋文化を守り伝える会） ・子どもの未来から見える今、幼児期に大切なこと DVD上映会と講演会開催（緑とくらしの学校）	
	16	休眠預金の活用探る（市民活動交流会）	・市民活動図鑑「よもぎの会」	・ひとサポつうしん ・頸城野ドキュメントライブラリー ・しっぽのなかま上越
	23	冒険の夏 サマープログラム開催 （国際フリースクールICAN）	・妙高わかもの会議始動	・緑とくらしの学校
	30	夏の妙高を楽しもう「妙高夏色緑足2018」開催	・市民活動図鑑「押花サロン笹川」	・おりづるつうしん

8	6	西日本豪雨被災の倉敷市へボランティアバス運行参加者募集	・金谷フェスにぎわう ・つな活トークー40(市民活動交流会)	
	20	西日本豪雨被災へボランティアバス運行倉敷市真備町で支援活動		・ひとサポつうしん ・頸城野ドキュメントライブラリー ・しっぽのなかま上越
	27	高齢者とボランティアで交流(高田北城高校家庭クラブ)	・若者が地域の拠点「長者温泉ゆとり館」再生(波と母船)	・緑とくらしの学校 ・おりづるつうしん
9	3	まちライブラリー講演会&開設ワークショップを開催(国際フリースクールICAN)	・「まちやど」の取組み(まちやどシンポジウム)	
	17	防災月間 市民が介助運搬車開発		・ひとサポつうしん ・頸城野ドキュメントライブラリー ・しっぽのなかま上越
	24	ボランティアさん 特技を活かして活躍		・波と母船 ・緑とくらしの学校 ・おりづるつうしん
10	1	アール・ブリュット作品展開催		
	8	見える化で事業拡充(市民活動交流会)		・ひとサポつうしん ・頸城野ドキュメントライブラリー
	15	ボランティアから活動を聞く市民活動体験ツアー参加者募集	・ツキノワグマとの共生を考える(SAVEJAPAN)	・しっぽのなかま上越
	22	社会の実現に向けフォーラム(2018にいがたワーク&ライフフォーラムin上越)	・福島県県外避難者が柏崎で交流	・緑とくらしの学校
	29	上越市の住民組織が取組み紹介		・おりづるつうしん
11	5	若者交流会「糸JAM」開催		・波と母船 ・ひとサポつうしん
	19	20周年でトークセッション開催参加者募集(くびき野NPOサポートセンター)	・こども支援チャリティバザー(JP労組高田支部) ・地元新そばで今年も盛況(ビュー京ヶ岳運営協議会) ・高田世界館でトークセッション開催	・頸城野ドキュメントライブラリー ・しっぽのなかま上越
	26	きょうだい児支援当事者会発足(まいせるふ)	・クリスマスイブにサンタクロース(チャリティーサンタ上越支部) ・歴史的建造物の活用イベント(高田世界館、保阪邸) ・地域のこどもたちと一緒に練習(新井吹奏楽団)	・緑とくらしの学校
12	3	20周年を迎えて、内山理事長挨拶(くびき野NPOサポートセンター)	・設立20周年記念事業(くびき野NPOサポートセンター) ・くびき野地域のNPOが歩んだ20年振り返る	・おりづるつうしん
	17	NPO法成立20周年記念フォーラム、長野市で開催	・地域のこどもたちと合同ステージ(新井吹奏楽団)	・波と母船 ・ひとサポつうしん ・頸城野ドキュメントライブラリー ・しっぽのなかま上越
	24	被災地の仕事おこしの記録映画、高田世界館で上映(ワーカーズコープ)	・NPOPRESS2018年振り返り ・くびき野NPOサポートセンター団体会員お礼	・緑とくらしの学校
1	14	地域の子育てを支援(マミーズネット)	・支の亥順調に出荷中(平丸スゲ細工保存会)	・おりづるつうしん
	21	2019年今年の抱負 ・小林良子さん(よもぎの会) ・高山太輔さん(市振地区の未来のための会)		・頸城野ドキュメントライブラリー ・ひとサポつうしん
	28	雪だるまとかまくらで妙高PR(妙高市わかもの会議)	・支え合う地域づくりへ、映画上映とトークイベント開催(ワーカーズコープ)	・緑とくらしの学校 ・しっぽのなかま上越 ・おりづるつうしん
2	4	にいがたNPO基金第7回助成募集開始	・災害支援の人材育成を、コーディネーター養成研修開始(新潟県社会福祉協議会)	
	11	県内地域づくり関係者一同に、支援者サミット開催	・6つのプロジェクトを提案(妙高わかもの会議)	・頸城野ドキュメントライブラリー
	18	テーマは「つながる」依存症フォーラム開催	・災害支援の人材育成、中級編開催(新潟県社会福祉協議会) ・ひな人形でお出迎え(上越妙高駅と歩む会)	・ひとサポつうしん
	25	集まれ! 0~2歳児親子「おやこフェス」開催(マミーズ・ネット)	・おめでとう! NPO法人(頸城観光協会、日本防災用品技術研究協会)	・緑とくらしの学校 ・おりづるつうしん
3	11	春の訪れ彩る市民活動紹介	・「ワガコト化」するヒント探る(新潟県地域づくり見本市in上越)	・波と母船 ・頸城野ドキュメントライブラリー
	18	3.11震災から8年 防災の取組み	・地域活性化大賞受賞(街なか映画館再生委員会) ・SDGsと市民活動の可能性(協働フォーラム)	・しっぽのなかま上越 ・ひとサポつうしん
	25	同世代で平成を楽しむ若者交流イベント開催(高田世界館)	・新潟ろうきん福祉財団NPO等助成、助成先募集中 ・日本酒テーマに女性イベント(日本酒で美を醸す会実行委員会)	・緑とくらしの学校 ・おりづるつうしん

●FM みょうこう「ハッピーライフ」への出演（継続事業 4年目 達成レベル○）

目標

FM みょうこうの番組「ハッピーライフ」（土曜 12:00～13:00/日曜 9:00～10:00（再））内の1コーナーに出演し、NPOPRESSの掲載記事や地域の市民活動に関する情報を発信。

報告

NPOPRESS で取り上げた団体の活動をコミュニティ FM で発信し、情報提供の機会としてきた。地域メディアとの協働による市民活動の情報を発信した。H31年3月の番組修了に伴い、コーナーも終了した。

②WEBによるNPO情報発信（継続事業 10年目 達成レベル△）

目標

動的な発信についてはNPOPRESS等と連携しSNS等の活用を進め、更新頻度を高める。HP（固定ページ）については、静的情報を発信するような役割分担へ移行する。

報告

上越市NPO・ボランティアセンターの「hand shake」については定期的に情報を掲載し、訪問者数も増えてきている。本体ホームページについては、掲載内容も含め見直しが必要。

③上越市市民活動支援（上越市受託事業 継続事業 17年目 達成レベル◎）

目標

ボランティア相談及びコーディネート、ボランティアニーズ調査を実施。その他、NPO・ボランティアセンター団体登録に付随する管理を行う。社会活動参加促進のためのサイト「hand shake」等も活用し、ボランティア活動に関する最新情報を提供。上越市の小中学生に配布する「ボランティアだより kids」も発行。

★数値目標：ボランティアコーディネート 400件
hand shake 訪問者 40,000人

報告

窓口担当スタッフを配置し、コーディネート業務を実施。

★数値実績：ボランティアコーディネート 500件
hand shake 訪問者 26,121人
ボランティアだより kids 14,500部発行

④上越市市民活動交流会（上越市受託事業 継続事業 4年目 達成レベル○）

目標

市内で活動している市民活動団体が、お互いの活動を認識し、交流を持つ機会を提供することで、活動リソースの共有、活動上の課題の克服、新たな協働事業といった団体同士の連携を促進させ、さらなる市民活動の充実を図る。

- ・市民活動団体同士の連携を図る交流会(2回開催)
- ・団体同士が知識やノウハウを共有するテーマ型交流会(4回開催)

報告

予定通り6回の交流会を実施。様々な団体による交流会のほか活動テーマ別、ノウハウ共有など形を変えながら開催した。上越市の方針として平成30年度を以て事業は終了。

▼開催実績

第1回 日 時：平成30年5月27日(木) 15:00～17:00

内 容：「子どもたちのためにできること」、事例紹介、グループトーク、フリートーク

事例紹介 いちよう食堂、NPO 法人キッズスマイル、NPO 法人国際フリースクール ICAN

参加者数：24人、満足度：100%

- 第2回 日 時：平成30年7月5日（木）18:30～20:30
 内 容：講義「はじめる！そなえる！休眠預金の活用」、フリートーク
 講師 関口宏聡 氏（認定 NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 代表理事）
 参加者数：10 団体・12 人、満足度：80%
- 第3回 日 時：平成30年7月31日（火）18:30～20:30
 内 容：「つな活トーク だいたいU-40」、グループトーク、発表、フリートーク
 参加者数：12 団体・26 人、満足度：94.2%
- 第4回 日 時：平成30年9月28日（金）18:30～20:30
 内 容：講義「活動を“見える化”してみよう」、フリートーク
 講師 石本貴之 氏（認定 NPO 法人新潟 NPO 協会 事務局長）
 参加者数：4 団体・8 人、満足度：62.5%
- 第5回 日 時：平成30年12月20日（木）18:30～20:30
 内 容：講義「無料 IT ツールを活用しよう」、フリートーク
 講師 渡邊裕人 氏（アジャストシステム）
 参加者数：2 団体・8 人、満足度：87.5%
- 第6回 日 時：平成31年2月27日（水）18:30～20:30
 内 容：講義「チーム力UP みんなで楽しむ会議術」、個人ワーク
 講師 吉崎利生 氏（有限会社 F&C ヨシザキ 代表）
 参加者数：4 人、満足度：100%



⑤SAVE JAPAN プロジェクト（継続事業 7年目 達成レベル ◎）

目 標

損保ジャパン日本興亜「SAVEJAPAN プロジェクト」の新潟エリアを担当する。今年度は「ツキノワグマ」をテーマに、駆除だけでなく人間との共存や希少生物の保全を考えるシンポジウムと現地調査会を実施し、市民に環境保全活動への参加を促進する。

★数値目標：イベント参加者数 100 名（シンポジウム 70 名、現地調査会 30 名）

報 告

NPO 法人新潟ワイルドライフリサーチと連携し、ツキノワグマの保全及び人間との共生をテーマとしたシンポジウムとイベントを開催した。

・シンポジウム「ツキノワグマと人間の共生～里山の生態系を守ろう～」

平成30年10月7日（長岡市）

・子ども向け体験イベント「ツキノワグマと人間の共生～里山ぼうけん～」

平成30年10月8日（長岡市栃尾地域）

★数値実績

イベント参加者数：シンポジウム 49 名、

体験イベント 41 名

満足度：82%



市民の NPO への支援を高める事業

①にいがた NPO 基金（継続事業 7年目 達成レベル△）

目標 県内企業や市民にむけ寄付募集のアプローチ（企業訪問、募金、NPOへのPR等）を積極的に行う。合わせて、新潟ろうきんNPO寄付システム、ひとくちの寄付キャンペーンを通じた寄付募集も継続していく。助成事業については、5年間の助成金活用状況や成果について評価を行い、報告書を製作する。

報告 「新潟ろうきんNPO寄付システム」を中心に寄付募集を行い、今年度は県内で活動するNPO等へ総額75万円を助成することができた。また、「ひとくちの寄付」は単年度実施でなく、寄付者が長期的に支援できる仕組みを変更したため、引き続き寄付募集を行う。

●ファンドレイジング（寄付募集）事業

・「第5回ひとくちの寄付」キャンペーン
エントリー団体数：17団体（継続）

・「新潟ろうきんNPO寄付システム」登録者数：408件

・企業訪問、募金箱設置依頼等：29件

●助成事業

・「第6回助成金交付式、報告会」

※令和元年度に第7回と合わせて開催予定

・「第7回（2019年）助成プログラム」

募集期間／2月5日～3月12日 選考会／3月25日

助成総額：750,000万円（8団体）

・Aコース（上限5万円）※いずれも受付順

ソラヒト日和（長岡市）：応援助成25,000円、手しごと・手づくり柿崎・上越作品展実行委員会（上越市）：応援助成25,000円、糸魚川子ども食堂（糸魚川市）：50,000円、新津手話サークル竹の子（田上町）：50,000円

・Bコース（上限30万円）※いずれも受付順

NPO法人桂公園子どもランド（十日町市）：120,000円、宿根木自治会（佐渡市）：100,000円、NPO法人教員サポート Smile ういんず（新潟市）：200,000円、NPO法人日本ゲートキーパー協会（三条市）：180,000円

■にいがた NPO 基金 会計報告

にいがたNPO基金 平成30年度決算書			
2018年4月1日～2019年3月31日			
収入の部		支出の部	
項目	決算	項目	決算
寄付金収入	967,554	助成金支出(未払い)	750,000
おまかせ型寄付	966,554	第7回(2019年)助成金	750,000
事業指定型寄付(ひとくちの寄付)	1,000	経費	206,842
前期繰越金	0	会場費	0
くびき野NPOサポートセンター負担金	0	旅費交通費(運営委員、事務局、団体含む)	76,390
受取利息	2	通信費	124,080
		研修費	0
		会議運営費	0
		雑費、租税費	6,372
当期収入合計	967,556	当期支出合計	956,842
		次期繰越	10,714
収入合計	967,556	支出合計	967,556

②災害支援（継続事業 8年目 達成レベル○）

目標

上越市で災害が発生した際、災害ボランティア活動における関係団体間の連携体制を構築することを目的とした「上越市災害ボランティア連携推進会議」について、引き続き取り組む。

報告

- 「浪江のこころ通信」への協力
東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会が、福島県浪江町の避難者支援として実施している「浪江のこころ通信」において、新潟県内の取材窓口を担当。平成30年度は、柏崎市で活動する「浪江コスモス会（避難者グループ）」を取材。
- 上越市災害ボランティア連携推進会議
上越市社会福祉協議会と上越青年会議所、上越市による4者で継続的に開催。平成30年7月豪雨では同枠組みで岡山県倉敷市に向けてボランティアバスを運行した。
- 新潟県災害ボランティア調整会議
新潟県内の災害ボランティア活動の普及啓発を目的に新潟県や県社協、市長会等21団体で組織する会議。当センターも加盟団体として参加。「災害支援コーディネーター養成研修」運営委員への参加、災害支援アドバイザー派遣の選考委員、財源確保部会長などを担当。

③市民活動体験ツアー（上越市協働事業 3年目 達成レベル○）

目標

上越市の特色や魅力をまちづくりに活かしているNPO、地域課題に取り組むNPO等の活動の現場を訪問し、市民のNPOへの理解を深めるとともに、市民がNPO等の活動やボランティアへ参加するきっかけづくりを行う。

報告

- 6月23日に地域資源を活かして活動する団体を巡る「まちのたからものみつけた」を実施。直江津でのまち歩きや福島城跡を伝える活動、頸城軽便鉄道の保存、郷土料理の伝承等を行う団体の活動現場を訪問した。
★数値実績：参加者12人、満足度100%



④中間支援組織職員スキルアップ研修（新潟県受託事業 達成レベル○）

目標

県内各地で非常利活動団体を支援している中間支援組織の職員が、研修を通じて支援能力を向上（スキルアップ）させることを目的に（1）研修テーマ決定のための事務局長ミーティング、（2）スキルアップ研修会（講義形式）、（3）実地研修（出張相談）を実施する。

報告

- 県内の中間支援組織職員の支援力向上を目的に、事務局長ミーティング、研修会、実地研修を行った。
- ・企画ミーティング：8月10日（新潟市）⇒ 参加者8名（県内中間支援組織の事務局長級）
 - ・全体研修会：12月26日（長岡市）⇒ 参加者：29名（中間支援22名、行政7名）
 - ・実地研修：（新発田会場）：3月25日 ⇒ 対応スタッフ7名、相談6団体
（魚沼会場）：3月26日 ⇒ 対応スタッフ4名、相談2団体

地域に自主自立した NPO を増やす事業

①NPO 設立、運営相談（継続事業 20 年目 達成レベル○）

目標

多様な内容の相談が増加しているため、幅広いニーズに対応できる人材を育成する。また「上越市ソーシャルビジネス支援ネットワーク」等、各方面の専門家との連携を深めることで、対応力を向上させる。

報告

NPO 法人として必要な申請や報告についての相談が増加。また例年同様、会計についての相談も多く寄せられた。引き続き対応スタッフの拡充（雇用）が課題。

数値実績：相談件数 23 団体 延べ 42 件

②講師派遣

●講師派遣

日付	主催・依頼元	内容	担当
4月10日	東北圏地域づくりコンソーシアム	浪江のこころ（コーディネーター）	新保
10月11日	新潟県社会福祉協議会	シニアカレッジOB会（コーディネーター）	近藤
12月9日	NPO 法 20 周年記念プロジェクト 北信越実行委員会	NPO 法成立 20 周年記念フォーラム in 北信越 (パネラー)	近藤
2月25日	妙高市市民活動支援センター	妙高市 NPO 運営意見交換会（アドバイザー）	近藤
3月27日	根知未来	学習会（講師）	近藤
3月12日	新潟県災害ボランティア調整会議	災害支援コーディネーター養成研修会 初級	新保

③協働環境整備（継続事業 12 年目 達成レベル○）

目標

地域の市民活動の推進に必要な取り組みについて、行政と協力しながら検討し、来年度以降の事業として提案していく。また、「妙高わかもの会議」のコーディネーターとして、行政と若者の協働の場づくりを後押しする。

報告

- ・上越市から受託している「上越市 NPO・ボランティアセンター」について、上越市社会福祉協議会が設置している「ボランティアセンター」と情報共有や連携を検討するための「ボランティア連携推進会議」を開催。市民や団体にとって使いやすい相談窓口の機能強化に向けて検討を進めた。
- ・妙高市の「妙高わかもの会議」にコーディネーターとして参画。

④印刷機設置（上越市との協働事業 継続事業 8 年目 達成レベル○）

目標

NPO の発信力と利便性の向上を目的に上越市 NPO・ボランティアセンターにカラー印刷機を設置。団体に利用してもらう。

数値目標：単色印刷 500,000 枚の利用

カラー印刷 70,000 枚の利用

報告

利用については白黒、カラーともに例年どおりとなった。設置し8年目となり、仕様の耐久を超え、機械の不具合が増加。そのため来年度4月から、新しいコピー機を2台に増設して導入する方向で準備を進めた。

★数値実績：単色印刷 451,377 枚の利用
カラー印刷 28,687 枚の利用

⑥NPO インキュベーション施設提供（継続事業 17年目 達成レベル×）

目標

事務所の活用に向け、施設面の整備に加え、窓口代行や他団体の事務局委託等ソフト面の整備を提供していく。

報告

現在、1団体が入居しているが、他団体にも入居をすすめていく。

くびき野 NPO サポートセンターの運営に関する事業

①会員拡大

★数値目標：個人会員 120、団体会員 75、企業会員 110
★数値実績：個人会員 84、団体会員 56、企業会員 79

②総会

5月29日に実施

③理事会

年3回開催

③設立 20 周年記念事業

12月2日にミュゼ雪小町を会場に設立20周年記念事業を開催。当センターの事業に特段の協力をいただいている関係機関への感謝状贈呈と設立以来からの継続会員への記念プレートの贈呈等を行う式典に加え、「地域資源」「NPOの担い手」をテーマとした2つのトークセッションを実施。感謝交流会は百年料亭宇喜世を会場に実施。

▼設立20周年記念トークセッション 日時：12月2日（日）午後3時から
会場：ミュゼ雪小町 参加者：68名

【地域資源を活かしたまちづくり】

岸田國昭氏（NPO法人街なか映画館再生委員会）
藤野正二氏（NPO法人頸城野ドキュメントライブラリー）
船木貴幸氏（白田邸保存会）

【これからの社会活動の担い手は】

片桐公彦氏（厚生労働省障害福祉専門官）
安楽大氏（NPO法人結縁）
諸岡龍也氏（妙高市地域のこし協力隊）
原理佐氏（仲六 青芋のいえ）

▼設立 20 周年記念感謝交流会

日時：12月2日（日） 午後5時30分から

会場：百年料亭 宇喜世

参加者 72 名



他団体主催の事業、会議への参加

①2018 にいがたワーク & ライフフォーラム in 上越への協力 （ 達成レベル○ ）

県内の労働組合や福祉団体等で組織される実行委員会により 10 月 13 日に開催された「2018 にいがたワーク・ライフフォーラム in 上越」に協力。県内各地から、およそ 300 名が参加したフォーラムで全 11 セッションの内、7つのセッションのコーディネートを担当。上越地域で活動する NPO がプログラムを実施。併せてフォーラムチラシや報告集の制作も担当した。

▼担当セッション

- ・「働く子育て家庭を支える ～必要な子育て支援は？～」(認定 NPO 法人 マミーズ・ネット)
- ・「小さな命を守るために ～多頭飼育崩壊の事例から～」(しっぽのなかま上越)
- ・「『わたしは、ダニエル・ブレイク』上映会と市民団体による活動報告」(NPO 法人 街なか映画館再生委員会)
- ・「雁木のまちで仕事と生活を発見」(一般社団法人 雁木のまち再生)
- ・「ぶらり直江津・湊町 旅情のまち・日本海 直江津まちあるきツアー」(LLC まちみらい直江津)
- ・「山里における地域づくりのお話とわら細エワークショップ」(NPO 法人 かみえちご山里ファン倶楽部)
- ・「森のようちえんのフィールドで活動紹介&森づくりワークショップ」(NPO 法人 緑とくらしの学校)

②委員等の派遣

民間	NPO 法人マミーズ・ネット じょうえつ子育て info 評議会 委員
	上越市市民プラザ全体運営委員会 委員
	社会福祉法人上越市社会福祉協議会 理事
	新潟県共同基金会上越支会 委員
	2018 にいがたワーク・ライフフォーラム in 上越実行委員会 副委員長
上越市	上越市自治基本条例見直し検討委員会 委員
	上越市新年祝賀会実行委員会 委員
	上越市表彰審査会 委員
県内	一般財団法人新潟ろうきん福祉財団 理事、NPO 等助成事業選考委員会 委員
	特定非営利活動法人 NPO さんじょう 理事
	新潟県災害ボランティア調整会議財源検討部会 座長
全国	特定非営利活動法人日本 NPO センター 副代表理事